

金融経済ナビ まなぼう！金融経済

債券の講座 株式会社と債券

自己診断シート/確認テスト〈解説・指導編〉

【自己診断シート】

債券とは何かを知っている前提でのコンテンツです。シートで「社債」という言葉を引き出します。社債の理解のために、株式の特徴と比較をさせますので、株式に関する事前学習が必要です（「株式の講座/株式と株式会社」参照）。

Aの解説：

学習に入る前に、「社債」を再確認します。

Bの解説：

債券は借金であることを再確認します。

Cの解説：

どちらが有利かは、一概には言えません。その時々の子会社の状況によって、選択することになります。債券と株式の各特徴については、コンテンツを参考にしてください。

設問2の解答と解説： A、B、A、B

債券と株式の違いに、おおまかに触れます。選択肢は比較しやすいと思われ、どちらかが債券か株式だという見当をつけながら進められそうです。

【確認テスト】

[解答] 1：A 2：C 3：B

[解説]

1：社債を発行するということは、投資家から借金をするということですので、返済と利子の支払いが発生します。また、返済には期限もあります。

2：新たに株式が増えるわけですから、株主の数も増える傾向にあります。よってまずBは不正解。株式が増えるぶん、株式が増える前と一株当たり配当金が同じであれば、配当の総額は増え、会社の負担が大きくなります。

3：会社が上げた利益に対しては税金がかかります。社債の利子は会社の経費として扱えるので、その分会社の利益が減るため、税金は少なくなります。